

様式第二号の十三（第八条の十七の二関係）

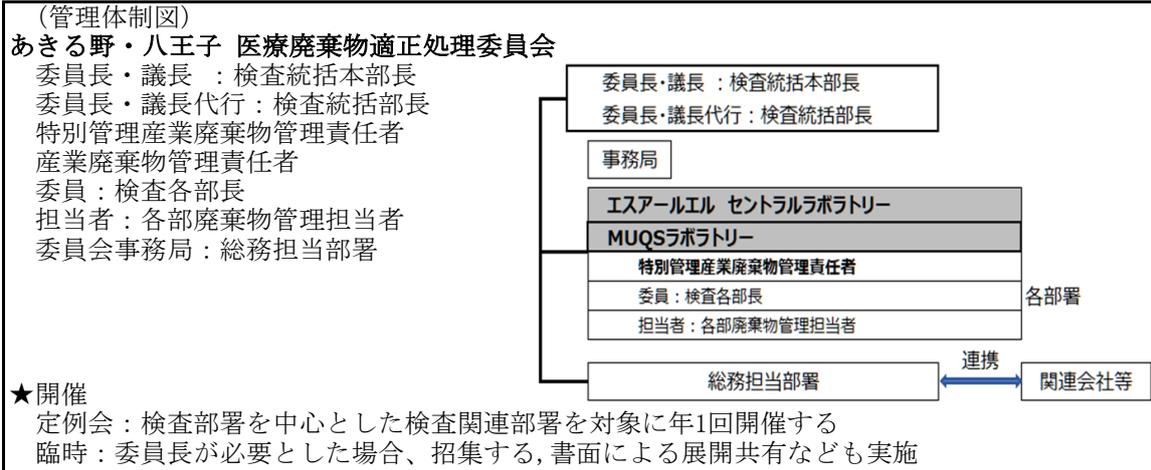
（第1面）

<p>特別管理産業廃棄物処理計画書</p> <p style="text-align: right;">令和7年6月30日</p> <p>東京都知事 殿</p> <p style="text-align: center;">提出者                  住 所 東京都港区赤坂1-8-1 赤坂インターシティAIR                  氏 名 株式会社エスアールエル                  代表取締役 松本 誠</p> <p style="text-align: center;">（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）                  電話番号 03-6279-0900</p> <p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>	
事業場の名称	エスアールエル セントラルラボラトリー
事業場の所在地	東京都あきる野市湊上50
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	〔8369〕 その他の医療に付帯するサービス業
②事業の規模	受託臨床検査事業を主に、健診機関の運営受託・健康増進サービス 営業拠点 北海道～九州・沖縄 93拠点 資本金：11,027百万円（2023年3月31日現在） 従業員数：1,471名 ※（746名）内臨時雇用者数
③従業員数	1128名（令和7年4月現在）
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>【感染性廃棄物】【汚泥】                  許可業者収集委託⇒許可業者（焼却）⇒管理型埋立</p> <p>【感染性廃棄物】の一部                  自ら中間処理を行い産業廃棄物（廃プラスチック類）⇒産業廃棄物として処理委託</p> <p>【廃油（廃溶剤含む）】                  許可業者収集委託                  ⇒許可業者（一部リサイクル、一部燃料として焼却）⇒管理型埋立</p> <p>【廃酸・廃アルカリ（金属等含む）】                  許可業者収集委託⇒許可業者（中和処理）⇒凝集沈殿⇒金属抽出⇒リサイクル                  化学的処理は複数あり。</p>

（日本産業規格 A列4番）

(第2面)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	廃油
	排出量	901.35 t	39.24 t
	（これまでに実施した取組） 【感染性廃棄物】の一部 自ら中間処理（滅菌処理）を行い産廃化している → 廃プラスチック類 ⇒ 処理委託（フラフ燃料等）		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	廃油
	排出量	1,036.00 t	40.00 t
	（今後実施する予定の取組） ①現状の取組を引き続き実施していく （一部、八王子に事業が残っており、将来的に廃棄量は増加する） ②廃棄物の適正分別、有害物質を使用しない検査方法の検討課題に取り組んでいる ③感染性廃棄物の減量にむけ、現状の取組の見直しの検討する		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・感染性廃棄物は以下に分別して廃棄 ①ガラス・金属、ゴム：外部委託（焼却処分） ②紙・廃プラスチック：滅菌後破碎（産業廃棄物化）
②計画	（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 現状の取組みに変更はないが、感染性廃棄物の中に非感染物を廃棄しないように注意喚起していく

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
【前年度（令和6年度）実績】				
特別管理産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ	廃油（廃溶剤）	廃酸（金属等を含むもの）
排 出 量	3.03 t	0.05 t	0.27 t	0.71 t
【目標】				
特別管理産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ	廃油（廃溶剤）	廃酸（金属等を含むもの）
排 出 量	3.00 t	0.05 t	0.30 t	0.70 t

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
【前年度（令和6年度）実績】				
特別管理産業廃棄物の種類	廃アルカリ（金属等を含むもの）	—	—	—
排 出 量	9.90 t	- t	- t	- t
【目標】				
特別管理産業廃棄物の種類	廃アルカリ（金属等を含むもの）	—	—	—
排 出 量	10.00 t	- t	- t	- t

## (第3面)

## 自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	廃油
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組) なし		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	廃油
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組) なし		

## 自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	廃油
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	580.42 t	- t
(これまでに実施した取組) ・紙・廃プラスチック類系の感染性廃棄物を滅菌処理、 処理後、破砕処理により産業廃棄物化とし、廃プラスチック類 として分別収集する			
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	廃油
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	667.00 t	- t
(今後実施する予定の取組) これまでの取組を継続、実施する			

## 自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

## 【前年度（令和6年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ	廃油（廃溶剤）	廃酸（金属等を含むもの）
自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ	廃油（廃溶剤）	廃酸（金属等を含むもの）
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

## 【前年度（令和6年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ	廃油（廃溶剤）	廃酸（金属等を含むもの）
自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ	廃油（廃溶剤）	廃酸（金属等を含むもの）
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

## 【前年度（令和6年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃アルカリ（金属等を含むもの）	—	—	—
自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃アルカリ（金属等を含むもの）	—	—	—
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

## 【前年度（令和6年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃アルカリ（金属等を含むもの）	—	—	—
自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃アルカリ（金属等を含むもの）	—	—	—
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## (第4面)

## 自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	廃油
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組) なし		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	廃油
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組) なし		

## 特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	廃油
	全処理委託量	320.93 t	39.24 t
	優良認定処理業者への処理委託量	320.93 t	0.02 t
	再生利用業者への処理委託量	- t	39.22 t
	認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	320.93 t	0.02 t
(これまでに実施した取組) 優良認定業者とのコミュニケーションと契約締結			

## (第4面) - 2

## 自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

## 【前年度（令和6年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ	廃油（廃溶剤）	廃酸（金属等を含むもの）
自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ	廃油（廃溶剤）	廃酸（金属等を含むもの）
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

## 【前年度（令和6年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ	廃油（廃溶剤）	廃酸（金属等を含むもの）
全処理委託量	3.03 t	0.05 t	0.27 t	0.71 t
優良認定処理業者への処理委託量	3.03 t	0.05 t	0.27 t	0.71 t
再生利用業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	3.03 t	0.05 t	0.27 t	0.71 t

## 自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

## 【前年度（令和6年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃アルカリ（金属等を含むもの）	—	—	—
自ら埋立処分を行なった特別管理産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃アルカリ（金属等を含むもの）	—	—	—
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

## 【前年度（令和6年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃アルカリ（金属等を含むもの）	—	—	—
全処理委託量	9.90 t	- t	- t	- t
優良認定処理業者への処理委託量	9.90 t	- t	- t	- t
再生利用業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	9.90 t	- t	- t	- t

## (第5面)

②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	廃油
	全処理委託量	369.00 t	40.00 t
	優良認定処理業者への処理委託量	369.00 t	0.02 t
	再生利用業者への処理委託量	- t	39.98 t
	認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	369.00 t	0.02 t
	(今後実施する予定の取組) 優良認定業者とのコミュニケーションと契約の維持		
電子情報処理組織の使用に関する事項	【前年度（令和6年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物 排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	954.53 t	
	(今後実施する予定の取組) 既に導入済みであり、適切に管理できるように処理を進める		
※事務処理欄			

【目標】				
特別管理産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ	廃油（廃溶剤）	廃酸（金属等を含むもの）
全処理委託量	3.00 t	0.05 t	0.30 t	0.70 t
優良認定処理業者への処理委託量	3.00 t	0.05 t	0.30 t	0.70 t
再生利用業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	3.00 t	0.05 t	0.30 t	0.70 t

【目標】				
特別管理産業廃棄物の種類	廃アルカリ (金属等を含むもの)	—	—	—
全処理委託量	10.00 t	- t	- t	- t
優良認定処理業者への処理委託量	10.00 t	- t	- t	- t
再生利用業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	10.00 t	- t	- t	- t

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令(以下「令」という。)第6条の14第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量(ポリ塩化ビフェニル廃棄物(令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。)を除く。)を記入すること。その量が50トンを超える者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等(情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当するときは、その旨及び理由を含む。)について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 9 ※欄は記入しないこと。